

## “生分解性ストローを導入”

ワシントンホテル株式会社(本社:名古屋市千種区内山三丁目 23 番 5 号、代表取締役社長:内田和男)は、運営するホテル内の飲食店舗・宴会場などで使用している従来のプラスチック製ストローを廃止し、三菱ケミカル社の生分解性プラスチックを用いた『生分解性ストロー』に2019年5月から切り替えをいたしました。



▲ストロー画像

当社は、これまで使用してきたプラスチックストローの代替品として、紙製や木製のものなどを検討してきましたが、耐水性や触感の点で満足いくものがなく選定を続けてきました。その折に、三菱ケミカル社より製品の紹介をいただき、機能・質感ともにこれまでのストローと同等であったため、導入を決めたものです。

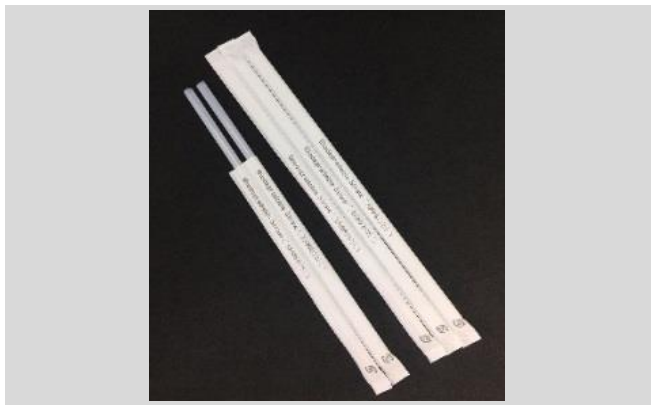
この生分解性ストローは、微生物の働きにより水と二酸化炭素に分解される植物由来の“生分解性プラスチック素材”から作られており、自然環境への負荷が少ないという特徴を有しています。

当社グループは、主に直営ホテル内の飲食店舗・宴会場・朝食、ゴルフ場レストラン、名古屋国際ホテルにおいて年間で約12万本のストローを使用しており、それらすべてを生分解性ストローに変更することで、環境汚染や生態系への影響防止につなげます。

## ■ 「生分解性ストロー」の詳細

三菱ケミカル社が開発、基本特許を有し、同社とタイ PTT Global Chemical 社が折半出資する PTT MCC Biochem 社が製造する植物由来の生分解性プラスチックを使用したストロー。

使用後には自然界の微生物によって水と二酸化炭素に分解されることに加え、石油由来資源の消費量を削減できることから、自然環境への負荷が少ないという特徴を有している。



▲生分解性ストロー

## ■ 当社におけるその他のプラスチックごみ削減取り組み

(表中の「WHP」はワシントンホテルプラザ、「R&B」は R&B ホテル、「国際 H」は名古屋国際ホテルを表しています)

### ① プラスチックマドラーの削減

内 容	朝食時に、コーヒーを部屋に持ち帰られる際に使うマドラーを、プラスチック製から木製のものに変更。
実施時期	2018 年 12 月から順次変更
該当ホテル	各 WHP (名古屋栄を除く 17 ホテル)
削減予定数	年間 約5万4千本

### ② 歯ブラシ、かみそりの削減

内 容	R&B ホテルチェーン全 22 店(2019 年5月現在)において、歯ブラシ・かみそりを客室内に常設せず、必要な方のみフロントでお渡し。 ※WHP チェーン、国際 H は客室内に設置。 持参されたお客様(お渡し不要の方や、客室内のものを未使用の方)には宿泊5回分で、500 円分の QUO カードを進呈。
実施時期	客室内に設置していないのは R&B 開業当初(1998 年4月)から。 QUO カードの進呈は、R&B ホテルでは 2005 年3月から。 2011 年1月から WHP でも開始。(国際Hでは未実施)
該当ホテル	各 WHP 及び R&B
削減予定数	WHP で年間約 16 万室分、R&B で年間約 30 万室分(2018 年3月期実績)

## ■ 本件お問い合わせ先

ワシントンホテル株式会社

経営企画室 めのめ 布目、原、今井田

T E L 052-745-9035